

8 家庭科における環境教育の学習指導事例（第6学年）

環境教育の視点とのかかわり

本事例は、よりよい生活を利便性からのみ追求するのではなく、家族の一員として自分の生活と近隣の人々や生活環境との調和を考えながら、共に豊かな生活を営む観点から生活を見直すことができるようにしたものである。
 そのため、家庭でごみの調査を行い、地域の実態による処理の仕方を調べたり、環境に配慮したごみ処理の仕方を考えさせたり、地域のごみ収集場などを観察させたりして、地域社会で環境の美化に協力する態度を育てるようにした。

1 題材名 近隣の人々との生活を考えよう

2 題材について

この題材は、2年間の家庭科学習のまとめであると同時に、題材の学習を通して、家庭生活が、自分の住んでいる地域の人々とのかかわりや支え合いの中で成り立っていることを意識し、自分から進んで、それらとかわりながら生活できるようにするものである。

指導に当たっては、様々な角度から生活を見直したり、実践したりしたことを生かし、学習指導要領の内容の(1)～(7)までを関連させながら、自分の家庭生活全体の中での課題について見つめ、どのように工夫したらよいかを実践的に考えることができるようにする。また、自分の生活の仕方を工夫することが、近隣の生活環境をよりよいものにしていくことにつながるといふ展開を考え、近隣の人々との触れ合いの場の設定を工夫できるようにする。

3 題材の目標

- (1) よりよい生活を営んでいくために自分の家庭生活の課題を見付けられるようにする。
- (2) これまでの学習を生かして、生活環境を考えながら課題の解決を図ることができるようにする。
- (3) 問題解決的な学習を通して、課題解決を図り、近隣の人々との生活を考え実践しようとする態度を育てる。

4 題材の指導計画・評価計画

(1) 題材の評価規準

観点	家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
評価規準	・近隣の人々との生活に関心をもち、自分の家庭生活について環境に配慮した生活をしようとしている。	・近隣の人々との生活を考え、自分の家庭生活を見直し、環境に配慮した生活を自分なりに工夫している。	・近隣の人々との生活を考え、自分の家庭生活について環境に配慮した生活ができる。	・近隣の人々との生活を考え、環境に配慮した自分の家庭生活について理解している。
具体の評価規準	①自分の生活の仕方や近隣の人々との生活に関心をもっている。 ②自分の家庭生活や近隣とのかかわりでの課題解決に取り組もうとしている。 ③近隣の人々や生活環境に配慮した生活をしようとしている。	①自分の生活の仕方での課題解決を自分なりに工夫している。 ②自分の生活の仕方での新たな課題解決を自分なりに工夫している。	①課題を解決するための基礎的な技能を身に付けている。 ②近隣の人々とのかかわりを大切にしながら、快適に生活していくための課題を解決することができる。	①課題を解決するための基礎的な知識を身に付けている。 ②近隣の人々とのかかわりや支え合いによって、自分の家庭生活が成り立っていることを理解している。

(2) 指導と評価の計画（10時間）

時	小題材名	主な学習活動	評価規準（☆）評価方法（・）
1	①近隣の人々との生活を見てみよう。	○近隣の人々との生活を見る。 ○近隣の人々との生活について気付いたことを発表する。 ○近隣の人々との生活について考える。	☆自分の生活の仕方や近隣の人々との生活に関心をもっている。 【家庭生活への関心・意欲・態度 ①】 ・ワークシート ・発表の様子、観察
2 3 4	②自分ができることを見つけ、やってみよう。	○近隣の人々は、住みやすくするためにどんなことに気を配っているか話し合う。 ○互いに住みやすくするために、近隣の人々とどんな工夫をしたらよいかを考え、計画を立てる。	☆自分の家庭生活や近隣とのかかわりでの課題解決に取り組もうとしている。 【家庭生活への関心・意欲・態度 ②】 ・話し合いの観察 ・計画カード

5 6		<ul style="list-style-type: none"> ○自分が実践できそうなことを計画する。 ○計画を発表し合う。 ○計画に沿って実践し、記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆課題を解決するための基礎的な知識を身に付けている。 【家庭生活についての知識・理解 ①】 ・計画カード ☆自分の生活の仕方での課題解決を自分なりに工夫している。 【生活を創意・工夫する能力 ①】 ・計画カード ☆課題を解決するための基礎的な技能を身に付けている。【生活の技能 ①】 ・計画カード ・実践報告書
7 8 9 10	③触れ合いの輪を広げよう。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が実行してきたことを実践報告する。 ○他の人の発表を参考に、実行したことをよりよくするために計画を見直す。 ○自分が見直したことを実践し、報告する。 ○地域の人々との触れ合いの場を工夫して設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆近隣の人々とのかかわりや支え合いによって自分の家庭生活が成り立っていることを理解している。 【家庭生活についての知識・理解 ②】 ・実践報告書 ☆自分の生活の仕方での新たな課題解決を自分なりに工夫している。 【生活を創意・工夫する能力 ②】 ・計画カード ☆近隣の人々とのかかわりを大切にしながら、快適に生活していくための課題を解決することができる。 【生活の技能 ②】 ・発表の様子の観察 ・実践報告書 ☆近隣の人々や生活環境に配慮した生活をしようとしている。 【家庭生活への関心・意欲・態度 ③】 ・実践報告書

5 本時の学習 (2・3 / 10)


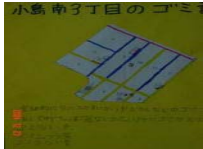

(1) 目標

自分の生活を見つめ直し、近隣の生活環境をよりよくするために何ができるかを考え、計画を立てる。

(2) 評価規準



- ・自分の家庭生活や近隣とのかかわりでの課題解決に取り組もうとしている。【家庭生活への関心・意欲・態度 ②】
- ・課題を解決するための基礎的な知識を身に付けている。【家庭生活についての知識・理解 ①】

(3) 展開

学習活動及び予想される児童の反応	教師の指導 (○)、評価 (☆)、評価方法< >	準備・資料
<p>1 近隣の人々と生活の様子について調べたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道に花が植えてあってきれい。 ・近隣の人同士あいさつし合って、ぼくにも声をかけてくれる。 ・共同でゴミ収集所を使っている。 ・自動車やバイクの音がうるさい。 ・人の通るところにゴミが多い。 ・いろいろな種類のごみがある。 ・汚れているものもある。 ・ゴミが散らかっている。 ・食べ物の袋が多い。 ・犬の散歩をしている人が多い。 ・犬のふんがいっぱいある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣の人々は、生活する環境を大切にしながら生活していることに気付くようにする。 ○分からない児童には、「近隣の環境に関すること」と「近隣の人々の触れ合いに関すること」に分けて考えるように助言する。 ○よく分からない児童については、学校のごみ収集所の写真を見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査の結果  <ul style="list-style-type: none"> ・写真 
<p>2 課題を知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学習課題 自分の家庭生活についての議題を見付け、その課題を解決するための計画を立てよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○調べることから計画が具体化してくる場合もあるので、個別に対応し、計画カードそのものの完成にばかりとらわれないようにする。 	

〈計画カード〉

- ・自分の課題
(この課題にどのような取り組みか)

ごみを減らす工夫		騒音をなくす工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子は、余分に買わないようにする。 ・ごみにならないように残さず食べる。 ・買い物に行くとき、買い物袋を持って行く。 ・トレーなどは、スーパーに持って行く。 ・ポイ捨てはしない。 ・資源回収に出せるものは出す。 ・生ごみは、乾かしてから出す。 ・ごみを分別して出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ティッシュを使わずに雑巾を使う。 ・まだ使えるものは使う。 ・小さくなった洋服などは譲る。 ・不用品をリサイクルする。  <p>小さくなると袋にたくさん入りそうだな</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の音がうるさいときは、窓やカーテンを閉める。 ・CDなど聞くときは音量を小さくする。 ・テレビの音量を小さくする。 ・大声を出さない。 ・ドアは、静かに閉める。

- 4 計画した自分の課題を発表する。
- ・自分にできそうだと思うことを発表する。
 - ・洋服やペットボトルなどリサイクルできるものはリサイクルしたい。

- 共通の課題をもつ児童が必要に応じてグループをつくって活動してもよいこととする。
 - 友達の発表を聞くことにより、お互いの活動に関心をもてるようにする。
 - 自分のごみの出し方が近隣の人々との生活とかわっていることを確認する。
 - ごみや騒音を出さないようにすることは難しいけれど、家族とも反省すべき点を話し合いながら実践することが、地域の環境を守ることにつながることに気付かせる。
- ☆自分の家庭生活や近隣とのかかわりでの課題解決に取り組もうとしている。

【家庭生活への関心・意欲・態度 ②】

- ・話し合いの観察
- ・計画カード

☆課題を解決するための基礎的な知識を身に付けている。

【家庭生活についての知識・理解 ①】

- ・計画カード

- 5 次時の予告を聞く。

- 次時の学習からは、実行していることの途中経過を報告し合ったり、計画を修正したりしながら、準備やまとめをしていくことを伝える。

6 実践を通して

児童は、ごみの処理の実践を通して、家庭生活について環境に配慮した態度を身に付けてきた。

実践を続けることによって成果が出てくることを実感したり、実践したことで家族や近隣の人々に言葉をかけてもらうなど、近隣の人々とのかかわりを深めたりすることができた。

今後も、自分にできることを日々実践し継続していくことによって、自分たちの生活環境をよりよくするために主体的に行動できる能力を高めることにつながるものと考えている。

持続可能な循環型社会の実現を目指して、よい活動につながるように支援していきたい。

計画カード

近隣の人びととの生活を見てみよう

6年()組 / 名まえ()

1. 近隣の人びととの生活の様子や生活環境について、気づいたことを書き出そう。

いいなと思うこと	こまるなと思うこと
<ul style="list-style-type: none"> ◦ 道をせわしにくれる人がいる。 ◦ 花が咲いてきれい。 ◦ ゴミを出す日を守っている人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◦ ゴミが人の多く通る場所にある。 ◦ 店の駐車場に、おかしなふうや空き缶が落ちていた。 ◦ ホイ捨てる人がいる。 ◦ 自転車の音やバイクの音がうるさい。 ◦ ゴミが、いっぱいある。



自分ができることを見つけ、やってみよう

6年()組() / 名まえ()

1. 自分でできそうなこと、してみたいことを計画しよう。

生活環境に關すること

- ゴミを少なくする方法を調べる。
- ① どんなゴミが多いか、家のゴミを見る。
- ② リサイクルできるものをさがす。

2. 近隣の人びとが気持ちよく生活できるように、自分の家で気をつけていることを書き出そう。

これにしよう(活動のテーマ)。

- ゴミを少なくする

どのように取り組むのか計画を立てよう。

- リサイクルしてゴミをへらす。
- ゴミをへらすやり方を見つける。

2. どのような方法で発表するかについても考えよう。

もそう紙で発表する。

いろいろなごみがある。でも、もっと少なくてできそうだな

騒音について

騒音は、近隣の人々にとって迷惑だ。出さないようにしては。



まとめ

「たかが騒音」と思っていたが、騒音がきっかけで、争いごとが起きたことには驚いた。騒音を出さないようにすることの大切さがよく分かった。

我が家では、テレビの音量を小さくすることや大声で怒鳴らないことなどの工夫ができると思う。

音の大きさだけでなく、音の種類によっても聞こえ方や感じ方が異なってくると思う。虫が鳴く音や川の水の流れる音など、自然の音をもっと大切にしたいと思う。

ごみの出し方について

<ぬれた生ごみとかわかした生ごみの比かく>

	重さ(g)
ぬれた生ごみ	70
かわかした生ごみ	30
差	40

ぬれた物の重さが、かわかした物の倍以上の重さだということが分かった。クラスの人数を30人として計算してみると

$$70 \times 30 = 2100 \qquad 30 \times 30 = 900$$

差は1、2 kgになる。地域全体では、ずいぶん違ってくる。

まとめ

わたしたちは、生活環境を考えると、一人一人がごみを少しでも減らしていくことが大切であることがよく分かった。自分でできること、家族でできることを毎日きちんと実践し、近隣の人々との生活を快適にしていきたい。